

# 大空町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

## 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

大空町の農業構造については、畑地帯総合整備事業をはじめとする各補助事業により、生産・流通施設の拡充、大型省力機械等の導入と組織的な利用が進展し、畑作、稲作、酪農を中心とした安定的な農業経営が行われている。

近年は、農産物の輸入自由化、輸入加工品の拡大などによる農畜産物価格の低迷や、あるいは農家経営の安定化のため、花き、野菜、肉用牛の導入を図るなど経営の複合化に向けた取り組みを展開している。

しかし、近年の農業情勢の先行き不安等から農業を生涯の職業として選択しない後継者が増えており、大空町においても農業の担い手不足が顕在化し、高齢化が進み離農者の増加が懸念されている。

## 2 作物ごとの取組方針

### (1) 主食用米

生産数量目標に沿った作付面積を作付するとともに、将来的には需要に応じた生産数量を確保する。

### (2) 非主食用米

#### ・加工用米

需要に応じた生産数量を確保する。

### (3) 麦、大豆、飼料作物

生産性の高い優良品種への転換や湿害を回避するための排水対策の実施、機械導入による省力化等を推進する。

### (4) てん菜、馬鈴薯、その他野菜

てん菜の作付面積は年々減少傾向にあり、地域としてより振興すべく重要視している作物であることから、適正な輪作体系の維持や土壌分析結果を活用した適正施肥、また省力的な生産方式の導入も含め、指標面積の確保に取り組む。

馬鈴薯は、澱粉原料用・加工用・生食用等、用途別の需要に見合った品種の計画的な作付や生産と、製造コストの低減はもとより、食の安全・安心の確保など、実需者ニーズに的確に答えていくこととする。

青果、果樹、花卉については、農業所得確保のため、市場販売の更なる強化を図り、加工・業務用の生産拡大も合わせて取り組むこととする。

## 3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の作付予定面 積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	183.05	183.43	182.00
加工用米	14.26	9.48	7.18

麦	488.84	490.00	490.00
大豆	97.35	98.00	98.00
小豆	47.24	47.30	47.30
菜豆	110.94	111.00	111.00
花き	2.45	2.50	2.50
地力増進	2.03	2.10	2.10
飼料作物	20.65	20.67	20.70
てん菜	316.44	317.00	317.00
馬鈴薯	25.01	25.05	25.10
その他地域振興作物			
野菜			
・玉葱	169.38	169.44	170.36
・ブロッコリー	10.27	11.62	11.62
・人参	5.87	5.90	6.00
・セルリー	4.97	5.00	5.20
・レタス	10.14	10.17	11.00
・長葱	4.26	4.30	4.50
・アスパラ	3.91	4.00	4.50
・トマト	0.33	0.40	0.70
・わさび	1.18	1.20	1.70
・だいこん	0.10	0.11	0.12
・いんげん	0.07	0.07	0.08
・とうもろこし	0.51	0.51	0.52
・なす	0.01	0.01	0.02
・ピーマン	0.08	0.08	0.09
・南瓜	5.27	5.27	5.30
・すいか	0.05	0.05	0.06
・メロン	0.01	0.01	0.02
・キャベツ	2.18	2.18	2.19
・はくさい	0.16	0.16	0.12
・ほうれん草	0.03	0.03	0.04
・きゅうり	0.01	0.01	0.02
・にんにく	0.02	0.02	0.03

#### 4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組番号	対象作物	取組	分類※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)	平成 30 年度 (目標値)
1	麦・大豆	湿害対策を施行したほ場での作付	イ	実施面積	586ha ( )	647ha ( )	647ha ( )
2	てん菜	地域振興作物助成	ア	実施面積	316ha ( )	316ha ( )	320ha ( )

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか1つ記入してください。)

ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※平成30年度以降の目標値を設定している場合は、「平成29年度（目標値）」の欄の右に欄を設け、目標年度及び目標値を記載してください。

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、（ ）内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。